

■主な規格

- 1) 周波数特性.....20Hz~20KHz(+4dB, ±0.5dB)
- 2) 全高調波歪.....0.3%以下 (+10dB, GAIN MAX時)
- 3) 入力換算ノイズ.....-124dBV (HF-Aフィルター)
- 4) 最大出力レベル.....+17dBV (T.H.D.1% 600Ω負荷)
- 5) イコライザー特性.....BASS ±15dB (100Hz)
MIDDLE ±15dB (2.5KHz)
TREBLE ±15dB (10KHz)
- 6) レベル・インジケータ.....0 VU=+4dBV
- 7) チャンネルピーク・インジケータ.....+15dBV (チャンネル・センド・レベル)
- 8) 最大電圧利得 (1KHz)
 - MIC INPUT → MASTER OUT72dB (MONO・SELECT時)
 - MIC INPUT → MONITOR OUT70dB
 - MIC INPUT → EFFECTS OUT70dB
 - MIC INPUT → CUE OUT72dB (MONO・SELECT時)
 - MIC INPUT → CH SEND43dB
 - CH RETURN → MASTER OUT29dB (MONO・SELECT時)
 - AUX INPUT → MASTER OUT30dB (MONO・SELECT時)
- 9) 最大入力レベル.....+18dBV (TRIM 0dB)
-22dBV (TRIM 40dB)
- 10) 入出力端子仕様

	インピーダンス	定格レベル	使用コネクタ
MIC INPUT	47KΩ	-60dBV	ホーンジャック
CH RETURN	10KΩ	-20dBV	ホーンジャック
AUX IN	47KΩ	-20dBV	ホーンジャック
TAPE IN	47KΩ	-20dBV	ピンジャック
CH. SEND	10KΩ	-20dBV	ホーンジャック
MASTER OUT	10KΩ	+4dBV	ホーンジャック
MONITOR OUT	10KΩ	+4dBV	ホーンジャック
EFFECTS OUT	10KΩ	+4dBV	ホーンジャック
LINE OUT	10KΩ	+4dBV	ピンジャック
PHONES	8Ω	0.25W×2	ホーンジャック
- 11) 重量.....5.5kg
- 12) 寸法.....460(W)×120(H)×324(D)mm
- 13) 消費電力.....AC100V (50/60Hz) 14W
- 14) オプション.....ラックハンドル(RE-2)

*規格および外観は、改良等の理由で予告なしに変更することがあります。



株式会社 日伸音波製作所

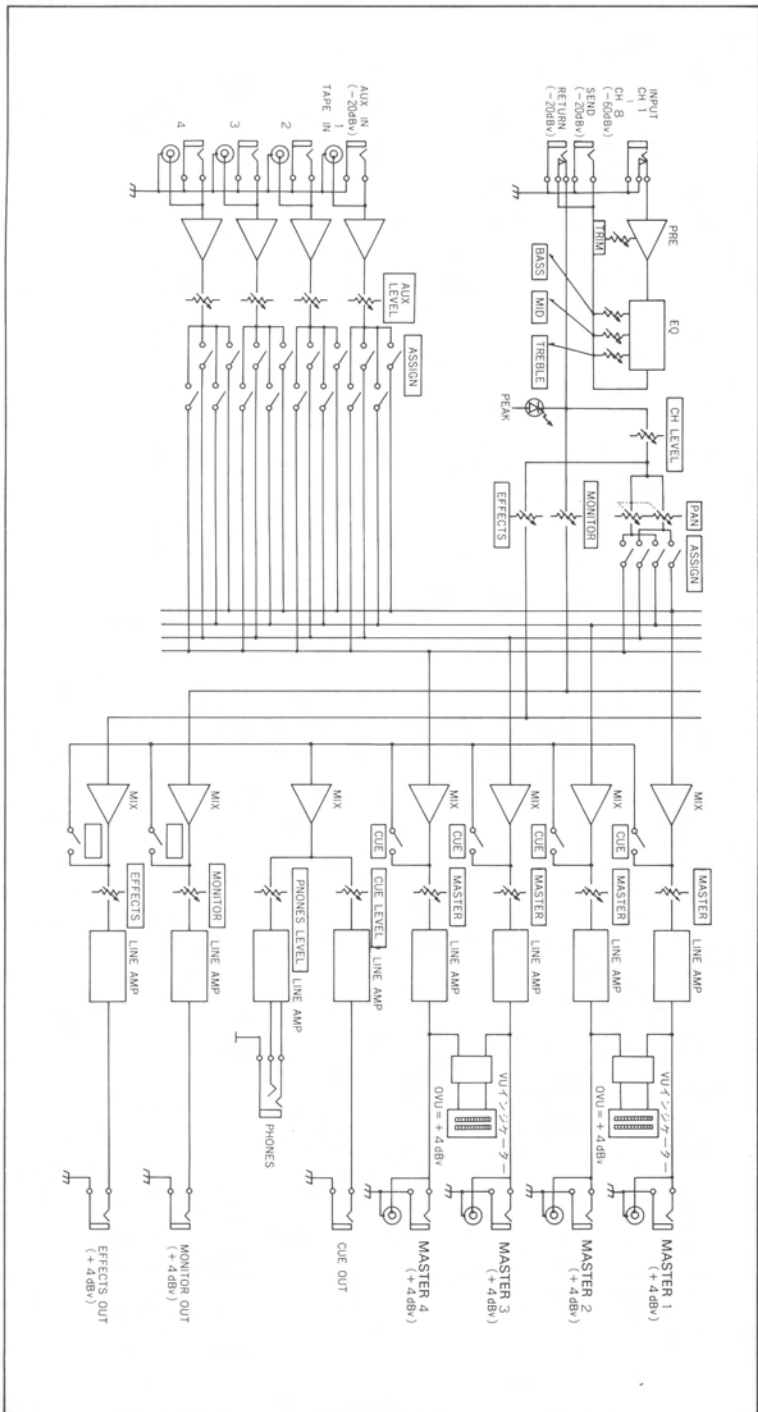
RM804X Owner's Manual UMN-RM-0201A NOV.1985 Printed in JAPAN

RM804X

8 CHANNEL MIXER

取扱説明書

■フロッグイヤケラ



- このセットはAC100V専用です。もしAC100V以外の電源電圧で使用になられる場合は電圧調整器でAC100Vに合わせてください。又、海外で使用になられる場合は、当社サービスセンターにご相談下さい。
- 電源コネクタを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コネクタを引張って抜くなどの無理な使い方をすると断線などの故障の原因になります。
- ケースのカバーを取りはずして内部に手を触れないでください。
- 電源コネクタは大切に扱ってください。ケーブルの破損が切れたりこすられたりして芯線が露出している電源コネクタをそのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 本機内部に水などの液体や可燃物、ペンやクレヨンなどの金属類を入れないように注意してください。感電や故障の原因になります。
- 本機を設置する場所は、0°C~40°Cの場所で、極端に高温、低温、湿度差の激しい場所での使用は避けてください。
- ホコリや湿気の少ない通風のよい場所、又、電源電圧の変動が少ない場所での使用ください。
- 主な機能・特長
- 8チャンネル・4アウトの多目的ミキサーです。
 - チャンネル・アサインスイッチにより任意の出力が選べます。
 - チャンネルにMONITOR送りの機能があります。PAでのFOLD BACK等に便利です。
 - チャンネルにEFFECTS送りの機能があります。効果音機器使用に便利です。
 - チャンネルにSEND-RETURN端子がありますので、チャンネル毎にフラッグ・アサインやエフェクタ等を接続できます。
 - 各チャンネル共にTRIMが40dB連続で変更できますので、どのような入力にも対応できます。
 - インプットモジュラーにはBASS, MIDDLE, TREBLEの3バンド・コントロールを採用しています。
 - PEAKのインジケータが各インプットモジュラーについており、レベルの調整が容易にできます。
 - 大型で見やすい、VU/ピークメータを装備しています。
 - メトリックのラックインポートを19インチ標準ラックに取付けられます。
 - ラックの色を機能別にしているため操作が簡単になります。
- お使いのこの説明書をお読み下さい。
- RM804Xは、新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心がけております。RM804Xの性能を十分に活用し未長く愛用していただくためにも、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。
- このたびは、2チャンネル・8チャンネルミキサー-RM804Xをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
- RM804Xは、ベストセラ-のRM80をベースにPAに又MTTRに多目的仕様で設計された8チャンネル・4アウトのミキサーです。

■各部名称と使い方

〈前面パネル〉

① PEAK (RED) (ピークインジケータ)

各チャンネルのレベルボリューム(フェーダー)に入る信号の大きさが+15dBv以上になると点灯します。TRIMを状況に合わせてコントロールします。

② TRIM (トリム)

各チャンネルの入力レベルに合わせるボリュームです。規定入力レベルを-60dBv~-20dBvまで連続的に40dB可変します。最大入力レベルは+18dBvです。入力レベルに合わせて適正な位置にセットしてください。

③ TREBLE (トレブル)

高域の音質をコントロールします。10KHzにて±15dB可変できます。0のポジションでフラットになります。

④ MID. (ミドル)

中域の音質をコントロールします。2.5KHzにて±15dB可変できます。0のポジションでフラットになります。

⑤ BASS (バス)

低域の音質をコントロールします。100Hzにて±15dB可変できます。0のポジションでフラットになります。

⑥ MONITOR (モニター)

プリ・フェーダー信号をとりだし、ミキシングバランスをとるボリュームです。CH LEVEL(フェーダー)の位置に関係なくレベル調節ができますので、PA等のモニター信号として使います。

⑦ EFFECTS (エフェクツ)

ポスト・フェーダー信号をとりだしミキシングバランスをとるボリュームです。CH LEVEL(フェーダー)の位置に影響しますから、CH LEVELが“0”の時は出力がなくなります。効果音機器等に接続します。

⑧ CHANNEL ASSIGN (チャンネルアサイン)

インプットモジュールからの信号を任意のマスターモジュールのチャンネルへ送ることができます。1と2又は3と4がペアになっています。(1か2又は3か4のうち1つのチャンネルスイッチのプッシュのみの場合モノラルとなりPANははたらきません)

⑨ PAN (パンポット)

CHANNEL ASSIGNボタンを1と2又は3と4を押すとパン機能が働きます。パンポットによって音像の定位を左右任意に設定できます。

⑩ CH LEVEL (チャンネルレベル)

各チャンネルの信号を⑪のマスターへバランスをとりながらミキシングするチャンネルレベルボリューム(フェーダー)です。

⑪ MASTER LEVEL (マスターレベル)

各チャンネル信号をミキシングした後、総合送りレベルを調整します。信号は前面パネルの“MASTER OUT”より送り出されます。

⑫ MASTER LEVEL-MONITOR (モニター・マスターレベル)

各チャンネルの“MONITOR”の信号をミキシングした後“MONITOR”の総合送りレベルを調整します。信号は背面パネルの“MONITOR OUT”より送り出されます。

⑬ MASTER LEVEL-EFFECTS (エフェクツ・マスターレベル)

各チャンネルの“EFFECTS”の信号をミキシングした後“EFFECTS”の総合送りレベルを調整します。信号は背面パネルの“EFFECTS OUT”より送り出されます。

⑭ CUE (キュー)

M1~M4のマスター信号及びモニターとエフェクツの信号を確認するスイッチです。確認はヘッドホン又はキューアウトでできます。

⑮ AUX ASSIGN (アックス・アサインスイッチ)

⑯でレベル調整した信号をどのマスター(1~4)にミキシングするかを選択するスイッチです。

⑯ AUX LEVEL (アックス・レベル)

背面パネルのAUX IN又はTAPE INの信号のレベル調整します。この信号は⑮のスイッチによって任意のマスター(M1~M4)にミキシングできます。

⑰ PHONES LEVEL (ホーンズ・レベル)

⑰のPHONESの出力レベルを調節します。

⑱ PHONES (ホーン・ジャック)

ヘッドホンを接続するジャックです。⑭のCUEスイッチをONしたところの信号がモニターできます。

⑲ CUE LEVEL (キュー・レベル)

背面のCUE OUTの出力レベルを調整します。⑱のPHONESと同一の信号です。

⑳ VU METER (VUメーター)

各マスターアウトレベル(M1~M4)をVUで表示します。0 VU=+4dBvです。

〈背面パネル〉

㉑ MIC INPUTS (マイクインプット)

CH1~CH8のマイクロホン入力ジャックです。マイクロホン等-60dBv~-20dBvの規定入力信号を接続して下さい。

㉒ SEND (チャンネル・センド)

各チャンネルの“CH LEVEL”の前の信号をとり出します。エコー等、効果音機器へ信号を送ります。

㉓ RETURN (チャンネル・リターン)

各チャンネルの“CH LEVEL”に信号を送ります。エコー等、効果音機器からの信号を入力させます。

㉔ MONITOR OUT (モニター・アウト)

“MONITOR”信号の出力ジャックです。FOLD BACK等モニター送りに信号を送ります。

㉕ EFFECTS OUT (エフェクツ・アウト)

“EFFECTS”信号の出力ジャックです。エコー等、効果音機器へ信号を送ります。

㉖ MASTER OUT (マスター・アウト)

MASTER信号の出力です。VUメーターが0 VU時に+4dBvの出力が得られます。

㉗ LINE OUT (ライン・アウト)

マスターアウトと同一の信号が得られます。ピンジャックになっています。

㉘ TAPE IN (テープ・イン)

テープレコーダーの出力を接続します。この入力には㉙AUX INにジャックが挿入されると自動的にOFFになります。

㉙ AUX IN (アックス・イン)

エコー等、効果音機器を接続します。

㉚ CUE OUT (キュー・アウト)

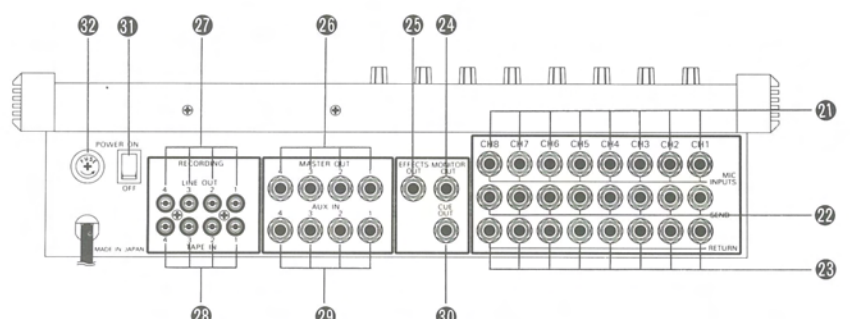
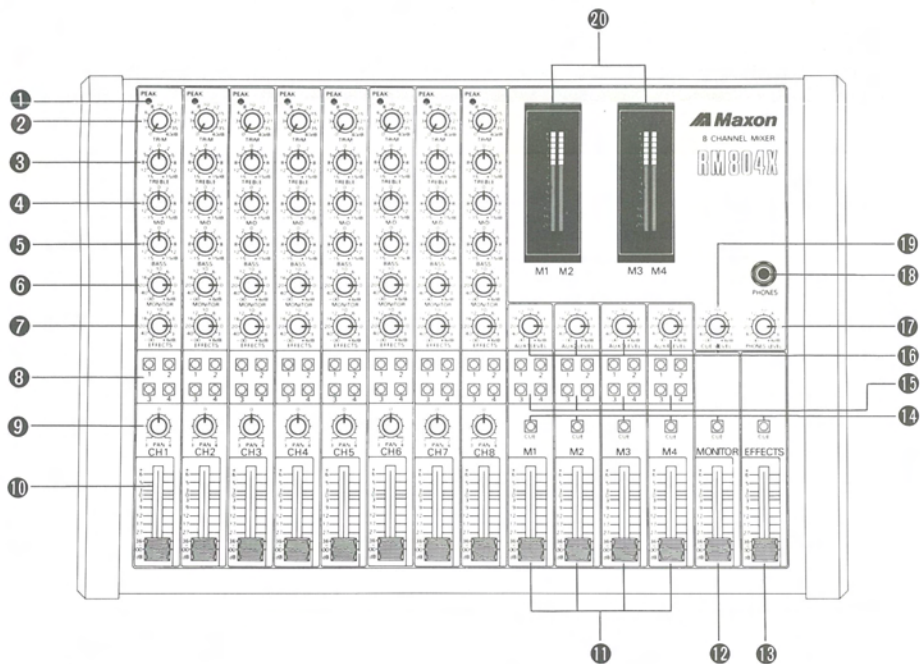
キュー信号の出力端子です。

㉛ POWER SW (パワー・スイッチ)

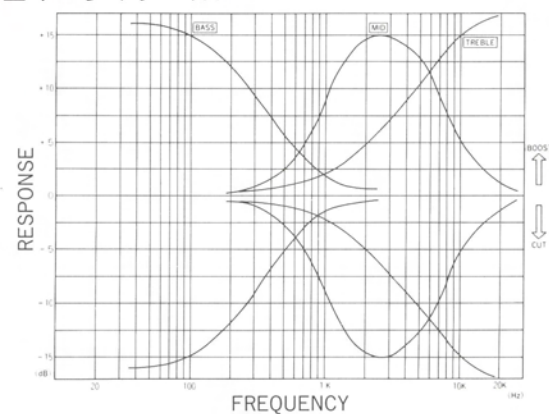
電源スイッチです。“ON”で電源が入りVUメーターが点灯します。“OFF”で電源が切れます。

㉜ FUSE (ヒューズ)

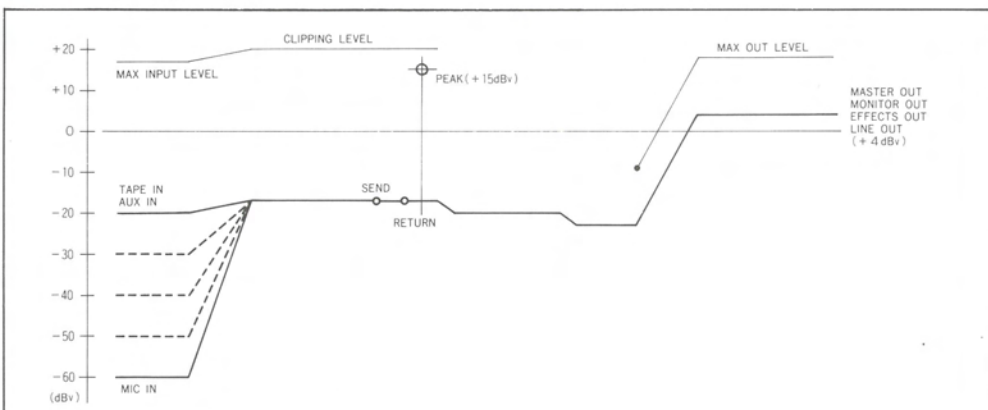
ヒューズ交換の場合は定格のものと交換して下さい。



■イコライザー特性

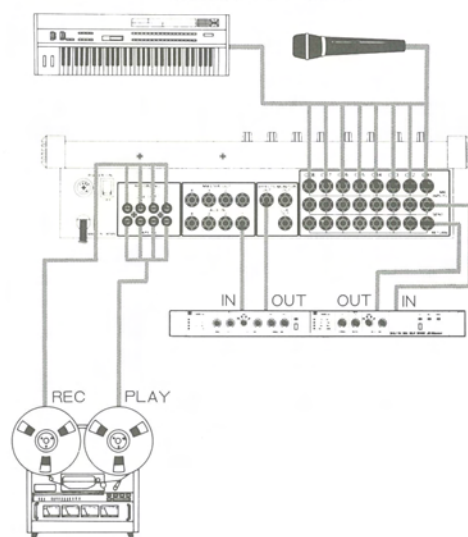


■レベルダイアグラム

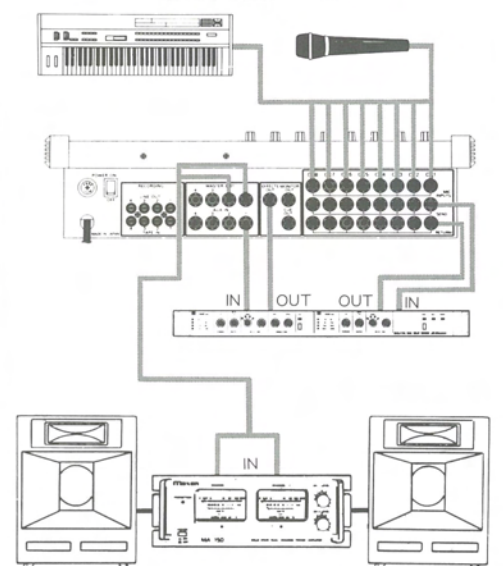


■接続例

(MTRのセッティング)



(PAのセッティング)



■寸法図

